

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名	ごみ収集事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり	所属部	総務部
計画	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課
体系	基本事業	21	リサイクルの推進	所属班	環境衛生班
課長名			担当若者名	齋田 奏子	
担当若者名			(内線)	1143	
予算科目	会計一般	款4	項2	目1	事業連番10188
法令根拠			廃棄物の処理及び清掃に関する法律	合志市	廃棄物の処理及び清掃に関する
成果優先度評価結果			⑫		
コスト削減優先度評価結果			①		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和60年にごみ収集が組合から市に移管されたときに直営で収集を行うよりも業者委託が経費の削減ができるということで開始した。ごみ収集業務を業者に委託し、所定の場所に排出されたごみを収集運搬する。ごみの分別の種類が増加した。(H18年度 15種類)人口増によりステーションの数が増加した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	業者選定、見積り徴収、業者決定、契約事務、請求書受付、量の照合、支払事務、廃蛍光管収集用箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油巡回整理、資源物持ち去り禁止の条例整備、持ち去り禁止看板の設置及びパトロール
【主な予算費目】	報酬、需用費、委託料、役務費、備品購入費
【意見や要望】	住民より拠点収集所を増加して欲しいとの要望がある。住民より違反ごみを出さないよう指導して欲しいとの要望がある。議員からリサイクルボード、ストックヤード等の提案があった。
関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
業者選定、見積り徴収、業者決定、契約事務、請求書受付、量の照合、支払事務を行った。廃蛍光管収集用箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油の巡回整理を行った。また、資源物持ち去り禁止に係る条例整備、持ち去りパトロールを実施した。ごみ収集予定表を作成し市民に分別等の周知を行った。	23年度に同じ。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア 支払事務件数	件 資源物持ち去り禁止に伴う巡回パトロールの実施に係る職員手当、天ぶら油回収ボックス整備の備品購入費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
ごみ	(単位) ア ごみの量 t
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現する	(単位) ア 適正に回収されたごみの量 t
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現することに繋がるため、成果指標を「適正に回収されたごみの量」とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①	活動指標	ア 件	24	24	24	24	24	24	24	24	
②	対象指標	ア t	12,551	12,660	12,131	12,946	11,616	11,089	10,551	10,000	
③	成果指標	ア t	12,551	12,660	11,000	12,946	11,616	11,089	10,551	10,000	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	46,617	48,479	47,654	49,056	50,360	47,654	47,654	
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	105,453	106,492	111,292	122,026	112,874	111,292	109,710	108,128
		(A)事業費計	千円	152,070	154,971	158,946	171,082	163,234	158,946	157,364	155,782
		(A)のうち指定経費	千円	0	1,353	1,354	1,354	1,574	1,354	1,574	1,354
		(A)のうち時間外、特	千円	0	0	0	0	220	220	220	220
		正規職員従事人数	人	4	7	4	7	7	7	7	7
人件費	延べ業務時間	時間	750	1,020	600	1,607	1,600	1,600	1,600	16,000	
	(B)人件費計	千円	2,985	4,202	2,472	6,489	6,592	6,592	6,592	65,920	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	155,055	159,173	161,418	177,571	169,826	165,538	163,956	221,702	

事務事業名	ごみ収集事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 近年の実績、人口増等を考慮し設定しているので、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 分別を徹底することにより、さらにリサイクルを進められる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市民一人当たりのごみの量については、市民の関心が高く年々減少傾向にあるが、人口増に伴いごみの量も増加する。分別を徹底することにより削減に努める。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正規職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業者選定等の事務であり、正規職員以外では難しいが、拠点収集所の巡回等については正規職員以外でも対応可能と思われる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民のごみを収集するので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、市が行うのは適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

23年度は、11,006 tのごみを回収した。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所(ごみステーション)から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表の作成など、市民に対し分別の周知等も行った。またホームページにリサイクルポードを開設した。市民一人当たりのごみの量については、市民の関心が高く年々減少傾向にあるが、人口増に伴いごみの量も増加しているので分別を徹底し、さらにリサイクルを進める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>ごみ収集業務は市独自の業務であり、日々排出されるものなので継続して行なっていきます。また、各家庭から排出される違反ごみ排出者に対し分別の徹底等、注意、指導を行なっていく</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>特になし</p>																						